

特集

古田晁生誕120周年 古田晁記念館開館30周年



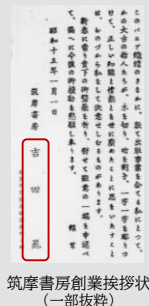
古田晁（昭和16年）

「ご存知ですか？」（ひだりあき）「古田晁」

古田晁ってどんな人？

筑摩書房を1940年（昭和15年）

6月18日に創業し、元日付けで筑摩書房創立の挨拶状を郵送していますが、自分の名前が「古田晁」になっているのに気づかず送付されたというエピソードがあります。筑摩書房の創業日は『中野重治随筆抄』を刊行した日です。



筑摩書房創業の3冊 筑摩書房創業挨拶状（一部抜粋）

太宰治の弔辞を読んだ

作家の中でも特に太宰治との親交は深かったため、悲しみは計り知れず、葬儀の際の弔辞の言葉は聞き取れないほどだったといえます。その際の弔辞の原稿も記念館でご覧いただけます。



古田晁と白井吉見

行ってみよう！古田晁記念館
推しポイント



1 展示室1階

古田晁にゆかりのある、著名な作家、研究者の直筆の手紙など貴重な収蔵品が無料で見られる！（複製も含まれます）特に太宰治関連の資料は必見です。



展示室1階



3 登録有形文化財

展示室、渡廊下および門が、2009年4月28日に国の登録有形文化財に登録されました。



認定プレート

評伝が多数！魅力的な人物

- ◆『奇跡の出版人古田晁伝』塩澤実信 著 東洋出版
- ◆『友 白井吉見と古田晁と』柏原成光 著 紅書房
- ◆『古田晁伝説』塩沢実信 著 河出書房新社
- ◆『わが心の出版人』加藤勝代 著 河出書房新社
- ◆『含羞の人』野原一夫 著 文芸春秋
- ◆『そのひと』白井吉見 編 狂書房
- ◆『回想の古田晁』井上達三 著 筑摩書房

などといった古田晁に関する評伝には、数々のエピソードが紹介されています。大柄で、面倒見がよく、出版に心血を注いでいた古田晁。ぜひ本手も手に取ってみてください。



古田晁文庫

4 市民による有志の団体
古田晁記念館友の会が結成！

古田晁の功績を次代に伝えるため、地元・北小野の市民有志や市立図書館元職員により「古田晁記念館友の会」が結成され、2026年4月から活動を開始しました。毎月第1土曜日には記念館の母屋で読書会が開催されており、古田の評伝を題材に会員同士が深く学び合う場となっています。



読書会の様子（7月）

図書館、こんな 使い方してます！

Vol.2

須木 成芳さん



塩尻市立図書館の整備サーターとして、15年以上活動されている須木さんにお話を聞きました。

時として公立図書館は、ただで利用できる貸本屋と揶揄されることがあります。

しかし、図書館には「本を貸す」だけではなく多様な機能が期待されています。えんば一くの図書館でも「本を貸す」以外の様々な活動に取り組んでいます。その1つに、2015年当時注目されていた「3Dプリンター」の導入があったと思います。（大学図書館を除いて、多分日本で1番最初に3Dプリンターを導入した公立図書館だと思います。）

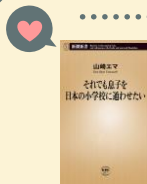
その3Dプリンターを使わせていただき、図書館職員さんの様々な協力を得ながら、国土地理院の3D地形データを利用して作った長さ1mを超える北アルプス・南アルプスの山並みの立体地図模型などは、見ていただいた皆さんから大好評を得ました。そして、仲間の山好きさん達や図書館と一緒に、松本市の山岳フォーラムや上高地インフォメーションセンターでの展示を行ってきました。

残念ながら、3Dプリンターは現在は故障して利用することはできませんが、この3Dプリンターへの取り組みの様に、図書館が本による「情報の提供」だけに留まらず、思いを形にする「ものづくりの提供」へ取り組む時は、また是非参加してみたいと思っています。

図書館職員からひと言

長く圖書の整備をサポートしていただき、本当に助かっております。今後も皆様と一緒に取り組む活動をしていきたいです。

私のお気に入りの1冊



『それでも息子を日本の小学校に通わせたい』

山崎エマ/著 新潮新書
ISBN 978-4-10-611117-4

今回の紹介者は…

塩尻市副市長 石坂 健一 さん



長く実業界にいた私にとって、教育の改革と進化は大きな社会課題だと考えていた。同調圧力や受動的態度が気になったからだが、本書を読んで日本の小学校教育を見直した。著者曰く「世界中の6歳は皆似たような子供だが、小学校を卒業するときに日本の子供は日本人になっている」というものである。日本の小学校頑張れ！と応援したくなった。

古田晁記念館情報

場所…塩尻市大字北小野3035番地3
入館料…無料
開館日…土曜日・日曜日・国民の祝日
開館時間…午前9時から午後4時30分まで
※入館は午後4時まで
休館日…月曜日・金曜日
（国民の祝日は除く）
および12月29日から
2月末日まで



MAP

互いに情報交換を図りつつ、環境整備や開館業務に携わるほか、湧田忠の墓参ツアーや文学サロンなどの記念館事業に協力していただいています。さらに記念館の庭にあるぶどう棚の袋がけや清掃など、地元中学生のボランティア活動を支援し、次世代へ思いを繋ぐ取り組みも行っています。



花植え作業（6月）

図書館だより

世界が広がり未来がひらける知の交流拠点

SHIOJIRI CITY LIBRARY
塩尻市立図書館

2026年 No. 2
8月号



特集

古田晁 生誕120周年
古田晁記念館 開館30周年



図書館NEWS

【期間限定】御朱印風「図書館印」を集めよう！

ただいま、市内全図書館に「図書館印」をご用意しています！ 選べる台紙は各館3種類ずつ。8分館分を集めると、本館にて表紙をプレゼントいたします。ぜひ図書館巡りをお楽しみください。
詳細は、ホームページのイベント情報または館内チラシをご覧ください。（期間：12/19まで）

「本の寺子屋」講演会チラシをメールでお届け！

毎月月初旬ごろに「信州しおじり本の寺子屋」講演会の案内チラシをメール配信しています。新規登録をご希望の方は、右の二次元コードからお申し込みください。



11月3日(火・祝)もえんぱーくに行こう！

11月3日の読書週間スペシャルデーは、10月27日から始まる秋の読書週間にあわせて、ぐるぐるぶっくす（除籍本の無料配布）など、本に関するさまざまなイベントを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

新図書館長の ごあいさつ

市立図書館長の清水隆朝です。
仕事や日々のタスクに追われる皆様にとって、図書館が「情報の拠点」であると同時に、一息つける「心の余白となる場所」を目指しています。

実用書でスキルを磨く、絵本を通じてお子様と対話する、あるいは何も考えずに雑誌を眺める。そんな何気ない時間が、明日への活力に繋がれば幸いです。

デジタル化が進む今だからこそ、手触りのある知恵や偶然の一冊との出会いを楽しめる空間を整えてまいります。

皆様のご来館を心よりお待ちしております。



図書館のサービス紹介

いきいき活動するシニアの皆様へ

図書館では「好奇心を持ち続け」、「暮らしを楽しむ」シニア世代の皆様に向けたサービスを行っています。

新しい一冊、見つけよう

図書館には大活字本や朗読CD、時代小説など、様々な種類の本などがあります。市内に9館ある図書館で定期的に入れ替えを行いながら、新鮮で飽きの来ない棚作りを心掛けています。

えんぱーくにある図書館本館には、暮らしに役立つ本や雑誌、大きな文字で読みやすい本などを集めた「いきいき浪漫コーナー」を常設。季節ごと変わる特集で、新しい知識との出会いを後押しします。

図書館で広がる楽しみ

えんぱーくDVD鑑賞会、イベント・講座での出張図書館、大人のおはなし会などを開催。本との出会いや人との交流など、図書館へ出かける楽しみを広げていただけたらうれしいです！



いきいき浪漫コーナー

DVD鑑賞会15周年！

年4回開催しているえんぱーくDVD鑑賞会は、2026年に15周年を迎えました！

これからも、魅力的な作品を上映していきます。どうぞお楽しみに。



過去に上映したDVD作品

塩尻市立図書館だより
第2号 2026年8月1日発行

塩尻市立図書館 本館
塩尻市大門一番町12番2号
TEL：0263-53-3365
休館日 水曜日、資料整理日、
年末年始（12/29-1/3）、蔵書点検日



HP



Facebook



Instagram



X